



千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.6.4 No. 3804

6・13 全国総

カンボジア侵略粉碎！
自衛隊即時撤兵！
小選挙区制粉碎—改憲阻止！

決起集会へ！

1993年6月13日(日)
東京・渋谷・宮下公園

国会最大の焦点となつて
いる、「政治改革」関連法案
—「選挙制度改革」審議がヤ
マ場を迎え、具体的「妥協案」
の提示「社・公・民三党(六
野党・会派合意) 小選挙区
比例代表連用制。自民党は小
選挙区比例代表並立制で意見
集約、八日にも党議決定」—
双方の接点を探る動きが活発
化している。



許さぬ

若者の生命を
喰ひもくする自民党

反対同盟孤立化、破壊許さぬ

— 隅谷提言、徹底弾劾

五月二四日、「成田空港問題
シンポジウム」の最終シンポが
開催された。マスコミはこぞつ
て「力の対決」に終止符「
対決から対話へ」とあたかも空
港問題が解決したかのようなキ
ャンペーンを繰り広げている。

しかし、このシンポによって
空港問題は、何ら解決しないど
ころか、ますます政府・運輸省
・空港公団は露骨な反対同盟破
壊にうって出ること明らかで
ある。シンポの提言をまとめた
隅谷調査団長は、「シンポとは
『大義名分』を立てて闘争を終
わらせること」(朝日四・二九)

この過程は成田治安法により、
反対同盟が所有する天神峰現地
闘争本部や団結小屋を次々に封
鎖・破壊していく過程であった。
まさしく成田シンポとは、脱落
派を先兵に反対同盟に対しては
徹底的な弾圧と闘争破壊であつ
たのである。

「今後の課題は北原派、小川派
の説得だ」(四・二七シンポ後
の記者会見)と公言しているの
である。

今回の最終シンポで確認され
た三項目の合意①「収用裁決
申請取り下げ」、②「二期工事計
画を白紙に戻す」、③「新たな
話し合いの場を設ける。」とは、
小川グループの抱き込みと二期
推進のためのものである。

①今日脱落派の事務局長の石
毛は、「木の根を中心とするC
滑走路についてはしかたないけ
れども、B滑走路は凍結するんだ。」
と公言しているが、すでに石毛
は木の根と一坪共有地を売り渡
すことに裏で合意したといわれ
ており、運輸省は「最後はB滑
走路延長を含めた事業認定のや
りなおし」を行なうとしている。
「収用裁決申請取り下げ」を行
なっても事態は一切変わらない
のである。